

スポーツ祭東京2013 を盛り上げよう

問 国体推進課
☎724・5830
FAX724・5831

タペストリーを設置しました

いよいよ来年に迫ったスポーツ祭東京2013（東京国体）。今年度は市内の会場である8月25日にバレーボール、11月23日～25日にバドミントンなどのリハーサル大会が開催されます。



町田駅前春風にそよぐタペストリー

市民が中心になって活動する実行委員会「スポーツ祭東京2013町田市」では、広報活動・各種募集案内・競技

3月下旬から、町田駅ペDESTリアンデッキと成瀬駅周辺に、スポーツ祭東京2013のタペストリーが設置されています。デザインは町田・デザイン専門学校（森野）の学生からの提供で、若者文化が盛んな町田らしさが表現されています。

町田商工会議所では、町田を訪れた人にとって分かりやすい案内となるように、町

商工会議所が 通り名・ネーミング事業を実施しています

町田商工会議所では、町田を訪れた人にとって分かりやすい案内となるように、町



プレートのイメージ

町田駅周辺の通りに愛称を付ける実証実験を行います。町田駅周辺の中心市街地で、通りの愛称や位置番号を記載したプレート（電柱や街路灯に設置します。実験期間は12月31日までです。事業の詳細は、町田商工会議所（☎

このほか、市民の下水道事業への理解を得るため、4月7日、8日に行われる「恩田

策定しました 町田市下水道ビジョン 町田市下水道アクションプラン

問 下水道総務課
☎720・1819
FAX727・2988

市では、今後の下水道のあり方について長期的な視点に立った基本的な方針や施策の方向性を示し、市民の下水道事業への理解を深め、協力を得ながら着実にその役割を果たすことを目的に、概ね30年先を見据えた計画「町田市下水道ビジョン」を策定しました。

「町田市下水道アクションプラン」を併せて策定し、計画期間内に最優先で取り組む3つの重点事業と、将来を見据えて新たに組み込む4つの「新たな試み」や財政の見直し、経営指標等を定めまし

や、浸水履歴を考慮した雨水管整備による浸水被害の軽減など、災害への備えを充実させていきます。

川さくらまつり」にあわせ、成瀬クリーンセンターを花見スポットとして開放しますの、ぜひお立ち寄り下さい。「町田市下水道ビジョン」と「町田市下水道アクションプラン」は町田市ホームページでご覧いただけます。また、市政情報やまびこで販売（町田市下水道ビジョン11500円、町田市下水道アクションプラン200円）しています。

（注）マンホールトイレは避難所に下水道本管に直結したマンホールを設置して、おき、災害発生時には、その上に簡易トイレとメントを置いて使用するトイレです。通常の仮設トイレに比べ汲み取りの手間が省け、断水が続き水洗トイレが使えない場合や、バキュームカー不足のケース等でも使用が可能です。

722・5957 FAX729・2747へお問い合わせ下さい。
問 産業観光課 ☎724・3296 FAX724・1185

(仮称)町田市福祉のまちづくり推進計画(案) 答申がまとまりました

市では、高齢者や障がい者をはじめとするすべての人にとって住みやすいまちづくりを総合的かつ計画的に推進するため、(仮称)町田市福祉のまちづくり推進計画(案)を検討しています。

福祉のまちづくり推進協議会では、一昨年10月に市長から諮問を受け、専門部会を置き審議を行ってきました。この間、市民の皆さんからは、市民ニーズ調査やご意見募集などにご協力いただき、ありがとうございました。

この度、同協議会の答申がまとまり、3月19日に会長から市長へ答申書が手渡されました。これを受け、市は町田市福祉のまちづくり推進計画を策定し、2012年度からさまざまな取り組みを展開します。なお、意見募集の概要は、下記のとおりです。



左から佐藤克志部会長、川内美彦会長、石阪市長

(仮称)町田市福祉のまちづくり推進計画(素案)

問 福祉のまちづくり推進協議会事務局(福祉総務課) ☎724・2133 FAX724・1187

- 意見募集期間 1月11日～2月3日
- 応募者数 9人
- 意見件数 34件

ご意見の概要と福祉のまちづくり推進協議会の考え方をいくつかご紹介いたします。詳細は町田市ホームページでご覧いただけます。また、福祉総務課(市役所本庁舎2階)のほか、

次の窓口でも資料を配布しています。市民相談室(市役所本庁舎1階)、市政情報やまびこ(中町分庁舎1階)、市民協働推進課(町田市民フォーラム3階)、各市民センター、木曾山崎・玉川学園文化の各センター、町田・南町田の各駅前連絡所、各市立図書館、町田市民文学館

ご意見の概要	町田市福祉のまちづくり推進協議会の考え方
どんなに頑張っても良い計画を作っても、それは絵に描いた餅になっていることが多い。決定したことを社会のすみずみにまで、浸透させる具体的な方法を考えないで机上の空論である。現場からのフィードバックをどう実現し、どうまとめてより良いものにしていくかが大きな課題である。	「みんなで取り組む」、「継続して進める」という2つの取組方針に基づき、多様な人々の意見を取り入れながら、連携し、一体となって事業の実施に当たっていくための計画案となっています。また、効果的な取り組みを推進していくため、情報を共有し、問題や課題等を次の事業等に反映し、継続的に取り組みを進めて、質の向上を図っていく仕組みづくりをこの計画の実行により行うものとしています。
市の各施設に緊急時・災害時などに聴覚障がい者に情報を伝えるための設備(回転灯や電光掲示板)を設置して欲しい。	緊急時の設備・施設については、町田市福祉のまちづくり総合推進条例整備基準等マニュアルに、参考設備として記載がありますが、現時点では義務付けがありません。ご意見については、施設の市民参加による検証等の際、他の設備等とあわせて整備について検討する参考とするよう、協議会から市へ伝えます。
車いす使用者が外出するたび、1～2回は「仕方ない」と我慢していると思う。どんな所でどんな不便を感じ、いやな思いをしているかをいかに吸い上げるか、新しい方法を考える時期ではないか。	計画案では、各取り組みに対する市民による評価、検証を重視し、市民参加の仕組みづくりを行っていく旨明記しています。計画の実行に当たっては、直接の参加だけでなく、アンケートやヒアリングなどさまざまな方法で、市民の意見を取り入れるよう、協議会から市へ伝えます。

第4次町田市保健医療計画(案)

問 健康総務課 ☎724・2916 FAX724・3071



市では、「第4次町田市保健医療計画」の策定にあたり、皆さんのご意見を募集しました。実施結果の概要は以下のとおりです。貴重なご意見をお寄せいただき、ありがとうございました。

- いただいたご意見は、本計画の策定及び今後の市政の参考にしていきます。
 - 意見募集期間 2011年12月11日～2012年1月10日
 - 応募者数 10人、3団体
 - 意見件数 30件
- ご意見の概要と市の考え方をいくつかご紹介いたします。詳細は、町田市ホームページでご覧いただけます。また、健康総務課(森野分庁舎4階)のほか、次の窓口でも資料を配布しています。

ご意見の概要	市の考え方
たばこは、喫煙と健康に関する客観的・科学的な情報を踏まえて、喫煙するかしないか等を自らが責任を持って判断すべきし好品である。たばこ対策を検討する際には、幅広い観点から総合的に議論され、バランスの取れた対策にしたい。	喫煙や過剰なアルコール摂取が及ぼす健康影響について、市民が十分な知識を持って、自らがより好ましい生活習慣を選択できるように、市として普及啓発を進めていきます。
発がん、再発、転移の患者、それを取りまく家族、他の方々(医療関係者含む)、経験者が治療、不安、精神的・経済的問題等、色々話し合える場が欲しい。また、医師による講演会の開催もお願いしたい。	本計画では、「がん予防の取り組み」を重点施策として掲げています。予防をはじめ、患者やその家族への支援を含めた総合的ながん対策を進めていきます。
健康づくり推進員活性化の目標指標である「町内会・自治会の推薦母体の割合60%」をもっとあげるべきだと思う。健康づくりは今後最も重要な課題である。ぜひもっと多くの自治会へ声をかけてほしい。	健康づくり推進員活動について理解していただけるよう、各町内会・自治会に積極的な働きかけをしていきます。ご意見を参考とさせていただきます。



パブリック
コメント
公表